



# 交野おりひめ大学通信



令和4年6月号

## 【クラフトビール部】実りの立夏、大麦の収穫迎える！



↑たわわに実った大麦



↑ハザ掛けして天日乾燥

昨年秋、麦畑に植えた大麦が収穫を迎えました。交野おりひめ大学でも、麦の栽培は初めてのこと。手さぐりながらも、なんとか収穫にこぎつけることが出来ました。たわわに実った麦を束で刈り、ハザ掛けにして天日乾燥、後日脱穀して麦芽に加工する予定です。ホップ栽培からスタートしたクラフトビール事業、この大麦から麦芽が出来れば、交野産ホップと麦芽、そして交野の水で醸造した100%交野産のクラフトビールが誕生します。乞うご期待を！

## 【おりひめ大学にこの人あり。】～シン代表理事 篠崎 聡さん(55)(天野が原町在住)～



↑「九州男児」って感じの篠崎新代表

今回は、交野おりひめ大学の法人である一般社団法人 交野おりひめ未来研究所の理事改選に伴い、新たに代表理事となった篠崎聡さんを紹介しします。5年前にお友達に誘われおりひめ大学おさけ学科に入学した篠崎さん、翌年からはおさけ学科のリーダーとして、学科の運営に携わってこられました。その後、カフェ部立ち上げのリーダーも務められ、クラフトビール部や酒づくりの会にも所属、おりひめ大学での活動を大いに楽しんでおられます。もともと、大手企業の企画部門にお勤めの篠崎さん、過去には転勤で九州や横浜に赴任されていましたが、20年ほど前に交野に越してこられました。実は、お住まいの天野が原町連合自治会でまちづくり委員会の委員長としても、地域住民の交流促進にご尽力されています。

また、過疎化が進む奈良県天川村の課題解決に向けた検討グループにも参加、仕事に自治会に検討会におりひめ大学と、何足もの草鞋を履いて多忙ながらも精力的に活動中です！

「学科生の思いを大事にしていきたい。」と語る篠崎新代表、交野おりひめ大学の基本に立ち返り「一人で出来ないことを10人、50人、100人で」を大切に、学科生がやりたいことを自らやれるような環境づくりを重点的に進めていきたいそうです。

カフェ部やクラフトビール部など新しい学科も新たに設立されるなど、おりひめ大学に所属する学科生の数も150人を越える大所帯に。大学の活動を通じた学科生の体験を大事に、いろんな学科とも連携しながら思いの実現を応援していきたいとのこと。

息抜きは庭木の手入れで、植木屋さんの梯子も購入し奥の深い松の枝の剪定に奮闘しているとか。公私ともに充実した生活を送ってられます。これからの活動を大学一同で応援していきたいですね。がんばれ、篠崎新代表！

交野おりひめ大学では、2022年度学科生募集中！詳しくは、ホームページをご覧ください。→

〈学科紹介〉

- 一人じゃできないことを、10人で、50人で、100人で
- そば学科
- おさけ学科
- デザイン学科
- てがみ学科
- 里のしぜん学科
- ゼロ円あーと工房
- クラフトビール部
- カフェ部
- 酒づくりの会
- かたのカンヴァース
- 新学科・部 設立準備中

(一般社団法人交野おりひめ未来研究所)

# 交野おりひめ大学

KATANO ORIHIME University



フェイスブック



ホームページ